



ひまわり

No.81
 発行日 令和2年1月31日
 発行者 葛飾区保護司会
 発行所 葛飾区南水元2-13-1
 水元学び交流館内2階
 TEL5876-3435

新年明けましておめでとう
 ございます。葛飾区の保護司
 の皆様方には、平素から更生
 保護の諸活動にご尽力を賜り
 厚く御礼申し上げます。本誌
 がお手元に届く頃には、御家
 族とともに健やかに新年をお
 迎えることと存じます。
 今年いよいよ二〇二〇東京
 大会が開催されます。これを



更生保護という「仕事」

東京保護観察所長 宮田 祐良

「世界一安全な国」で迎える
 べく、近年、再犯防止に特に
 力を注いで参りました。更生
 保護の理解者も増え、協力雇
 用主の登録も進んでいます。
 そんな協力雇用主の方の中
 は、ときに更生保護の神様に
 出会ったような思いをするこ
 とがあります。
 「必ず何か一つは良いところ
 がある。誉めて伸ばす。誉
 めることは認めることで、認
 められたら絶対に悪いことは
 しない」。 「会社は損害の
 リスクを負うが、これを恐れ
 たら少年たちの成長はストッ
 プしてしまう。むしろ事件が
 起きたときに社員教育が始ま
 り、会社全体が成長する
 …」。 「非行歴のある少年を
 教育しているのは若い社員だ
 が、社員も心豊かになり、お
 客さまに心から接客ができる
 ようになる」。 「厳しい業

しかしながら、初めからこ
 のような協力雇用主ではな
 かったと思います。最初は戸
 惑いも不安もあり、社員の賛
 同も得がたかったに違いあり
 ません。それが、協力雇用主
 を続けていくことで、あなた
 もベテラン保護司のように変
 わってくる人がいます。これ
 も更生保護の一つの力ではな
 いかと、最近感じています。
 更生において仕事が重要で
 あることは論を待ちません。
 生活の基盤であり、社会性を
 涵養し、人間性を成長させる
 ものでもあります。仕事とい
 うと有償の労働が強調され、
 ボランティアと対比されま
 す。けれども、例えば家事と
 呼ばれる無償の労働の在りよ
 うが私たちの豊かな生活を支
 えているように、仕事につい
 ても対価を超えたところにも
 人生の充実感を見出すことが

できそうです。更生保護に携
 わることで、このことを発見
 するということがあるかもしれ
 ません。これも高度経済社
 会という成熟した我が国にお
 ける更生保護の、現代的な意
 義ではないかと最近考えてい
 ます。
 対価・利便を求める余り情
 緒に鈍感になったり、追求に
 汲々とする余り寛容さに鈍感
 になったり、自己責任の名の
 下で相互扶助に鈍感にならな
 いようにしたいものです。人
 の痛みには鈍感になってしま
 っては、殺伐とした社会を
 招来しかねません。これとは
 逆に更生保護は、人情の機微
 の変化に、受け入れて助け合
 うことに、敏感に応ずる感受
 性が求められる仕事ではない
 かと思っています。
 「更生保護という仕事で充
 実した人生を」と言えば、筆
 が走りすぎたとお叱りを頂戴
 しそうですが、会員各位の御
 活躍と御健勝と今年一年が実
 より多い年となりますよう、心
 よりお祈り申し上げます。

コレワーク東日本訪問

さいたま新都心合同庁舎にある「コレワーク東日本」を訪ね、高野照文室長に話を聞きました。

コレワークは、平成28年11月に開所されました。コレワークは愛称で、「矯正」を表す「コレクション」と「働く」を表す「ワーク」を合体させた言葉で、正式には「矯正就労支援情報センター室」です。

さいたま市に「コレワーク東日本」、大阪市に「コレワーク西日本」があります。

コレワークの事業の柱の一つが「雇用情報提供サービス」です。全国の受刑者・少年院在院者の資格・職歴・帰住予定地などの情報を一括管理し、罪を犯した人を矯正施設の中にいるうちから雇いたいという事業主に、雇用ニーズに合った受刑者や少年院在院者がいる施設がど

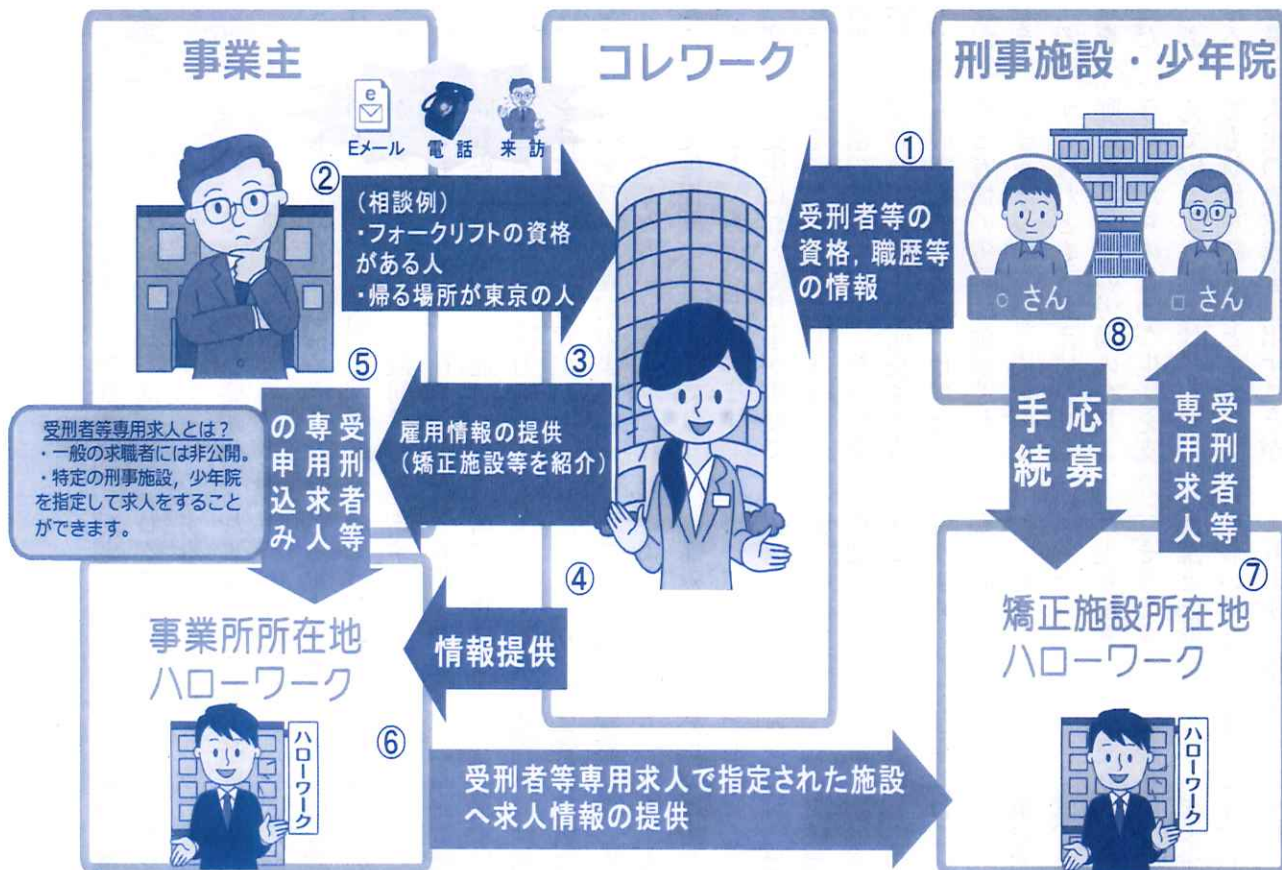
こなのかを伝えるサービスです。

刑務所等に入所している間から、働き場所を見つけようという仕組みです。入所等の事情を理解したうえで、雇用につなげようとする支援の仕方なのです。

事業主の方に対する、各種支援制度の案内・矯正施設見学会・職業訓練見学会等の相談窓口サービスもしています。

無職者の再犯率は高く、有職者の3倍です。また、刑務所に戻った再入所者の7割は再犯時に無職です。

社会の中で立ち直るためには、仕事や住居などの生活基盤の確保は不可欠です、特に仕事は、生計を支え、規則正しい生活を促し、社会との絆を保つために極めて重要なことです。



更生保護女性会の活動

更生保護の民間の担い手としては保護司・更生保護女性会・BBS会・協力雇用主・就労支援事業者機構・その他資金面で協力各種民間団体があるが本稿では、更生保護女性会について綴りたいと思います。

『更生保護便覧¹⁹』に

更生保護女性会は、犯罪や非行をなくし、罪を犯した人々の立ち直りを支援するボランティア団体であり、犯罪予防活動、青少年健全育成活動など、幅広い活動を展開することにより、更生保護の心を広め、あたたかな人間愛をもってだれもが人間らしく尊厳をもって生き生きと暮らせる明るい社会の実現に寄与することを目指して活動を続けています。

主な活動内容は、次のようなものがあります。

○犯罪・非行予防活動の実施

地域住民を対象に、家庭や非行問題について座談会や映画会

を行うミニ集会や、青少年への声掛け活動や子ども食堂など、地域に密着した活動を行うほか、「社会を明るくする運動」の啓発活動等にも積極的に参加しています。

○子育て支援活動

子育て問題を取り上げたミニ集会、子育て相談活動、親子ふれあい行事等の地域活動を全国的に行っています。

○社会貢献活動・社会参加活動に対する協力

保護観察対象者を対象として清掃活動、介護補助活動、レクリエーション活動などの企画・実施に対する協力を行っています。

○更生保護施設・矯正施設への協力活動

矯正施設を訪問し、行事への参加協力、被収容者への激励等を行うほか、更生保護施設に対しては、日用品の援助、炊事補助等の協力、被保護者に対する料理教室の開催などの処遇支援を実施しています。

研修旅行報告 金原明善記念館

水元分区は11月の研修旅行で、更生保護の父と称される金原明善の記念館（浜松市）を訪ねました。

明善は一八三二年に名主の子として生まれました。私財を投げ出して、天竜川の洪水で苦しんでいる人たちのために堤防を築いたり、治水治山や植林事業に大きな功績を残し、近代日本の発展に貢献しました。

又、明善は、当時政治犯として入獄していた川村喬一郎から監獄内の状況や釈放者の苦境を聞き、彼らの保護教育や就職の斡旋などを通して、社会復帰への道筋をつくる目的で勸善会を組織しました。明治21年には、静岡県出獄人保護会社を設立しました。設立趣意書には「出獄人ノ内、不幸薄命ニシテ社会ノ門戸ニ入り正當ノ職業に就ク能ハザルモノヲ保護シ、各其ノ所ヲ得、昭代ノ良民タラシメ；内ハ以テ吾人ノ幸福ヲ増進シ、外

ハ社会ノ安寧ヲ維持セン」とあります。犯罪をした者に、適切な処遇を行うことにより、再犯を防ぎ、これらの者が善良な社会の一員として自立し改善することを助けるとともに、社会の安定を目的としています。

具体的にはこうであった。出獄人たちは労働で得た収入を会社に入納め、会社は生活費を控除した残額をすべて積み立てる。積立額が55円に達すると全額が本人に返還された。それを元手に自らは生活の第一歩を踏み出すという仕組みです。寝るに宿なく、食するに一文の金もない出獄人。以前の彼だったら悪事に走ったかもしれない、しかし、この会社のおかげで更生への道を歩んだ者が多数いたという。現在の保護制度の原点となったゆえんである。なお、静岡県出獄人保護会社は、後に組織を改めて財団法人としての「静岡県勸善会」となり、今も更生保護事業を進めています。

就労継続支援事業



明るい共生社会をめざして

高砂福祉館の取組みから

高砂五丁目にある建物の中に入ると明るい喫茶ルームが迎えてくれます。ここでは①就労継続支援型事業（一般就労が困難な方に就労の機会を提供）②生活介護事業（ニーズに合わせた活動を提供）③相談支援④身体障害者デイサービス事業⑤施設開放事業の五事業を主に行っています。すべての人が地域の一人員として生き活きと生活でき、自立への一歩を支える事を目指しています。

①の事業の中で製菓、製パンづくりを取材した報告をしま

す。朝八時半、パン工房は作業

開始です。昨夜の内にねかしておいた生地をよく捏ね、丸める。生地に入れるバターやチョコレートを湯煎し延ばす。食パン用の生地を作る等。利用者の皆さんは決められた仕事に黙々と向かっています。

焼き上がったパンを一個ずつビニール袋に入れシールを丁寧に貼るAさん。「食べ物に虫が入ると売り物にならない」という。商品の衛生管理の必要性を自覚しての作業です。

又、Bさんは秤で生地を量り



分け麵棒で延ばします。数に強い特性を生かした仕事です。根気強く、一つの事をやり遂げる人、きれいな好きで洗い物をする人等。一人ひとりの個性や特性は種々です。

職員の方々はそれらを生かして仕事を振り分け、気持ちよく仕事に打ち込めるようにしています。職員の清川さんは「皆さ



ん頑張ってくれ、うれしい。自分の仕事をきちんとやり遂げることで自信を持っています。それがお給料を得ることに繋がってきます。私たち職員も共に楽しく働かせていただいています。」と。

一階の喫茶ルームchaoでお茶をしていた地域の方が「このパンやお菓子はとても美味



しい。帰りに家を買っていくのよ」と話されていました。

沢瀬施設長さんは区や関係機関のご協力で販路が広がり、又、地域の方が利用して下さることに感謝されていました。そして、これからも利用者の皆さんが生き活きと働くことができよう職員一同応援していきたくと力強く語られました。

パン工房の職員から

○人はほめられ認められることで喜びを得る

○仕事を通して達成感を得られることで自信に繋がる

○働いた報酬を得ることで自立の一步を踏み出せる

「人はみな生かされて生きていく。」高砂福祉館の皆様、ありがとうございました。

東京拘置所 矯正展

9月28日(土) 第8回東京拘置所矯正展が開催されました。

早くから並んで開場を待ち望んでいる来場者が大勢いました。ゲストは三浦大知さん。テープカット後の歌を披露する際、三浦さんから「タオルを振り回すには隣との距離が近くて危ないので、拳を上下に挙げるようにして一緒に歌ってください」との指示があり、みなそれに素直に従って一緒に歌っていました。

保護司会のブースは、飲み物や水風船つり、金魚すくいならぬぷよぷよボールすくいを行いました。とても暑かったので飲み物の売れ行きがよく、すぐに完売してしまいました。小さいお子さん連れが多く、ぷよぷよボールが完売し、できなかったと泣いていたお子さんもいました。

今年も売り上げの一部で拘置所に図書を寄贈させていただきました。

モンチッチとセキグチ

シリーズ
葛飾さんぽ¹⁸

皆さんは「モンチッチ」をご存知ですか？ ラッピングバスや、マンホールなどもあるモンチッチは葛飾区生まれのキャラクターです。そのモンチッチを生んだ「株式会社セキグチ」と共に簡単にご紹介します。

◇一九一八年東京府葛飾郡奥戸村大字上平井二六七九番地(現在地)に関口セルロイド加工所を設立、セルロイド人形の製造販売を業とする。



◇一九七四年(昭和四九年)モンチッチ誕生。

◇一九八〇年モンチッチの活躍がテレビアニメになる。

◇二〇一六年四月モンチッチ公園(愛称)が開園(西新小岩五丁目公園)。園内にはかわいいモンチッチのイラストがたくさんある。元はセキグチ・ドールハウスがあり、公園の新設にあたり、二〇一五年に撤去されたが、ドールハウスの石材を利用し、公園内にモニュメントが建てられた。また、モンチッチ公園は防災機能も備えた公園として整備されている。

◇二〇一七年モンチッチラッピングバス(二台)運行開始。新小岩から亀有駅、または市川駅(千葉県)を結ぶ路線を運行。

セキグチが創業してから今年で一〇一周年、モンチッチが誕生してから四五周年。セキグチではモンチッチの他にもミッフィーやスヌーピー、ディズ



ニー等々、キャラクターのライセンスによるぬいぐるみ・雑貨・ドール・オルゴール等を、ひとつひとつの商品に愛情をこめて製造販売しているそうです。

柴又の「寅さん」、亀有の「こち亀」、四つ木・立石の「キャプテン翼」、新小岩には「モンチッチ」。愛されるキャラクターがたくさんいる葛飾区に是非、お立ち寄りください。 ※本社への見学は行っておりません。

※モンチッチの人形は新小岩駅北口、第一書林でも販売しております。

分区だより



本田分区

社会を明るくする運動の一環として「落語で社会を明るくしよう」との落語会を9月に東立石地区センターにおいて開催いたしました。東立石の連合町会や青少年地区委員会のご協力で、大いに盛り上がり

りました。演者4名とお琴1名、来場者は80名でした。演者は、定年退職した後

奥戸分区

5月の葛飾教育の日には、分区内の小学校8校に分かれて訪問し、授業参観、学校への応援について懇談をします。5年間続いています。

7月の社会を明るくする運動

の駅頭広報では、高砂中学校の生徒会役員が毎年参加し、盛り上げてくれます。

昨年の「かつしか区民の集い」では、南奥戸小学校金管バンド部と奥戸中学校生徒代表が演奏と演舞をしました。

南綾瀬分区

昨年末、働き盛り3名が仲間入りし、現在18名の分区員で活動しています。

分区会を土曜日開催としたところ出席率が伸び、議事の効率が上がりました。また、連絡にメールを活用し、分区会に備えています。

10月分区研修として、矯正就労支援情報センター室「コレワーク東日本」を訪問し、刑務所や少年院の中にいるうちから就労支援の取り組みが行われていることを知りました。

金町分区

金町分区では、7月下旬分区内の各地区委員会と連携し、児童生徒の意見発表会・ラジオ体

操大会等での広報活動を行っています。また8月末には柴又帝

釈天境内で催される盆踊り大会『寅さんまつり』に於いて、大勢の踊り手・見物客の皆さんにチラシ『更生保護ってなんだろ』・薬物乱用防止ティッシュを配布し社明広報活動を行っています。

亀青分区

昨年から今年にかけて任期切れ等で、現在亀青分区員の人数は22名になりました。

本部役員として活動を担っている方も多いため、顔を合わせ際には人と人との熱を感じるようなつながりを持てるよう意識し、保護司として地域が安全・安心して過ごせるまちづくりに向け分区員一同力を合わせて行くつもりです。

水元分区

犯罪や非行をなくし明るい社会を願う意味で、青少年地区委員会、PTA、町会、子供会等の行事に参加しています。

保護司会ではさまざまな行事

があり、その一つが7月の駅頭広報です。金町駅においては、青少年地区委員会や更生保護女性会の皆さんに協力をいただき、北口、南口周辺にて総勢80名で「社会を明るくする運動」の文字の入ったティッシュペーパーを配っています。6月には、水元公園菖蒲まつりにおいても啓発活動を行っています。

新小岩分区

新小岩分区は、10月現在13名の保護司が活動しています。

9月新小岩学園新小岩中学校の一年生を対象に、薬物乱用防止教室が開かれ、薬物乱用は『ダメ・ゼッタイ』を合言葉に分区員も参加協力しました。

10月、9月に退任された倉谷・柄澤両氏の慰労会を開催し、観察官、桐友会の方にも参加していただき、和やかな楽しい会となりました。

わいがや

倉谷恭平

9月13日(金) 法務省・東京保護観察所にて、保護司任期満了の会が開催されました。柄澤良子保護司と共に、法務大臣より感謝状を頂き、同時に保護司の徴証と身分証を返納致しました。この時初めて保護司任期満了で退任の実感がわきました。

思えば平成7年9月保護司を委嘱され、新人研修が終了して程なく保護対象者が来訪してきました。研修した時の勉強と先輩の助言を思い出しながら、どきどきして面接したのがよみがえりました。

保護司生活は24年。妻と二人三脚でやってまいりました。まったく平穩無事の保護司活動でしたが、時には保護対象者を警察に引き取りに行くとか、身元引受人からの緊急の相談はありました。難しい件は主任保護観察官や先輩に相談し解決出来ました。

保護観察所の研修・保護司会

の後方支援も有り、まあまあ穏やかな保護司生活を過ごせたなと思います。

保護司会には、色々な事業部が有ります。私は広報部に入りました。編集会議では、取材原稿に先輩から朱筆が入り鍛えて貰いました。

広報部は、広報紙「ひまわり」を年2回発行しております。

入部した頃は手書き原稿での内ワープロ・パソコンが登場し便利になりました。

編集会議では、企画提案・記事をめぐって「わいがや」で楽しく議論したのを思い出します。保護司の方には是非広報部入部をお薦めしております。

最後に各所・多数の方に、お世話になりました。有り難う御座いました。

大切なことは
「研修・経験・知識」

保護司 M

私は、生活保護のケースワーカーとして、8年6ヶ月の経験と再任用の5年間、ケースワーカーの指導・助言した経験があります。

保護司の役割としても生活保護と関係するところがあり、今

させて載っております。つい先日、「発達障害について」の研修があり、発達障害に関する基礎知識の理解などができました。

実際に対象者を担当した際には、研修で受講し報告書の書き方を参考に報告書を作成することができ、研修で得た知識などが大役役に立ちました。また、面接の際には生活保護の時のケースワーカーの経験が活かされて、スムーズに環境調整や面接ができたと思います。

今後とも対象者に対応するためには、各種の研修や色々と自分自身勉強するとともに先輩保護司の方々の活動された経験などを参考に自分の経験したことを活かして保護司の活動を引き続き、できる範囲内で頑張っていきたいと思えます。



会務報告

〔人事の件〕

○新任保護司

令和元年9月17日付



増田 晃一殿
(新小岩分区)



石出 裕佳殿
(水元分区)

○退任保護司(任期満了)

令和元年9月16日付

高橋 宏殿

倉谷 恭平殿

柄澤 良子殿

益子 憲一殿

○令和元年度葛飾区自治功労者

松井宥孝殿(南綾瀬地区)

和栗由美殿(亀青分区)

耕野孝隨殿(奥戸分区)

令和元年度東京更生保護事業

関係者顕彰式典顕彰者

秋の叙勲	岩田敦子
春の叙勲	小柴正照
春の藍綬褒章	塚田和雄
法務大臣表彰	中村留美子 後藤節子 武井啓子
佐藤日賢 内田早月	佐藤日賢 内田早月
全国保護司連盟理事長表彰	馬場幸枝 舎奈田経夫 松本昌子
柏原慶純	柏原慶純
関東地方更生保護委員会委員長表彰	高橋晃祐 筒井孝尚
関東地方保護司連盟会長表彰	木村明洋 山崎博久
東京保護観察所長表彰	菅谷隆宏 石井陽子 狩野靖浩
大畑道博 上杉晃 船橋幸雄	大畑道博 上杉晃 船橋幸雄
濱野祐子 永井厚 小高喜代栄	濱野祐子 永井厚 小高喜代栄
東京都保護司会連合会会長表彰	石井玲子 腰塚幸男 和泉武彦
松島順子 近藤誠	松島順子 近藤誠
東京保護観察所長感謝状(家族功労)	舎奈田祥子 齋藤秀貴

(敬称略)

新しい夜明けに

葛飾区保護司会会長 岩田 敦子

謹んで新年のお喜びを申し上げます。令和元年が慌しく過ぎ、令和二年がスタートいたしました。今年度も残り三か月となりました。分区活動・部活動においては、近年自主的に様々な配慮がなされ、特に新任の方の活躍が大いに感じられます。

保護観察対象者は減少してきました。一方情報化社会の時代になり犯罪内容も多様で複雑になってきております。私たちもさらなる自主研修や、様々な方と情報を共有し、知識を身に付けていく必要があります。納得できる保護観察に向けて研鑽してまいります。

保護司会においては、部活動の向上にむけて必要な見直しを行い、来年度は、より負担の少ない活動にできるよう委員会で会則改正を進めております。

新年の初めにあたり、ご挨拶とさせていただきます。



編集後記

令和元年は災害の多い年でもありました。台風15号・19号の被害の復旧は未だ終りが見えませんが、災害の字の『川』をせき止めるせきを描いた象形文字です。災は順調な生活をはばんで止める大火のこと。転じて、生活の進行をせき止めて、じやまをする物事をいいます。

順調な生活をはばむものは他にもあります。事件や事故もそうです。一瞬の出来事が被害に遭った人のみならず、関係する方々を長年にわたって苦しめてしまいます。どんな被害救済策の制定よりも、苦しむ人を出さない社会の実現を願わずにはいられません。「再犯が一つ減れば社会は一つ明るくなる」これは保護司全員の信念です。

罪を犯した人を排除せず、地域の一員として受け入れ、共に生きることによって、誰もが安全・安心を実感出来る社会を築くために活動する毎日です。